

歴史の薫りのする街づくり

「仙台伝統門松」を市内に飾り 歴史の薫る街に！

12の企業・団体が社会貢献(フィランソロピー)として協賛

12月27日 伊達政宗公を祀る「青葉神社」に奉納

27日より29日にかけて、造園の名工が各所に設置活動！

『仙台伝統門松』は、東日本大震災後に仙台市博物館が実施した史料の救出活動で発見した古文書を基に、仙台城内の各門に飾られていた正月飾りを平成24年に復元したものです。この仙台伝統門松は、仙台城下をはじめ仙台藩の各所で飾られていたと考えられています。現在では、3本の竹を斜めに切って縄で束ねたものが全国各地で見られますが、仙台の各所で伝統的な門松を目にする市民が、伊達政宗公が開いた地「仙台」の歴史を感じ、愛着が深まることを願っています。復元された仙台伝統門松は、仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）が展示活動を続けています。

心のふるさと創生会議は、古いものがどんどん失われてきた仙台、歴史を感じられる場所や機会が少ない仙台の街並みに、この仙台伝統門松を通して『歴史の薫り』を届けようと、3年前に仙台市内を中心に設置運動を始めました。初年度は4基、昨年度は6基、今回は青葉神社に奉納する門松を含めると市内に12基の仙台伝統門松が飾られます。

古文書に従い42基の設置を目指して

寛文10（1670）年の古文書に、伊達政宗公ゆかりの地、根白石村（現在の仙台市泉区根白石）の農家より『仙台（伝統）門松』用の資材42組が仙台城に献上された記録があります。

今回の仙台伝統門松の施主さんには固有の番号をお持ちいただきました。この番号が42番になるまで設置活動を続ける所存です。欠番になる年も出るかもしれませんが、ひたすら前を向いて進みます。

一般社団法人 心のふるさと創生会議

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地 みやぎNPOプラザ内

電話 022-257-7262

メール：kokoronofurusato@miyagi.npo.gr.jp

ホームページ：<http://www.kokoronofurusato.org>

伝統の仙台門松を復元する

正月を代表する風景として門松があります。かつての仙台北城下で飾られた門松は、現在よく知られている門松の形 一斜めに切った三本の竹を藁(わら)で巻く一とは全く異なるものでした。

それは、2本の柱に大きな松と笹竹を取りつけて、門のように造り上げ、しめ縄を巻きつけて、中央に「ケンダイ」と呼ばれるしめ飾りを取りつけ、鬼打木という割り木を根元に添えるものでした。

地域や家によって形や材料に少しずつ違いはありますが、このような門松は、ほぼ旧仙台藩領全域で飾られていたようです。しかし、明治時代以降、少しずつその数を減らし、とくに第二次世界大戦中や高度経済成長期に激減し、個人宅でこのような門松を飾ることはほとんどなくなりました。

①心柱(しんばしら)

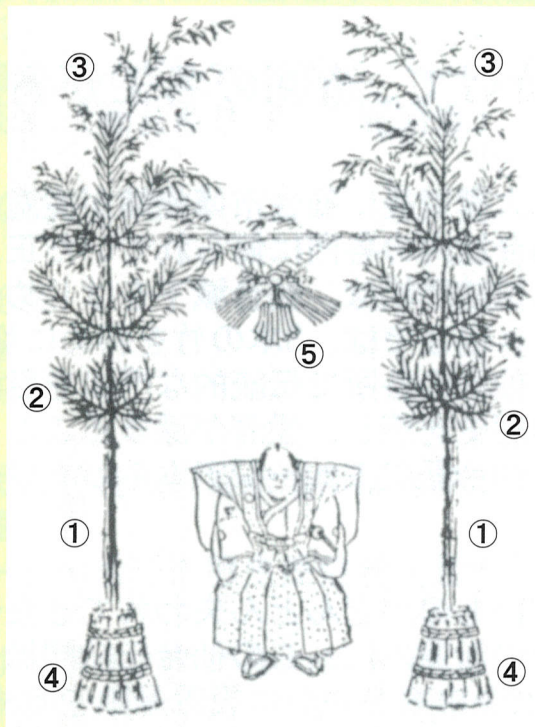
松や笹竹などをくくりつけるための支柱です。おもに栗の木や桐(くぬぎ)の木が用いられます。

②松(三階松)

心柱に取りつける松は、三段に枝分かれした三階松(さんがいまつ)が一般的ですが、仙台北城に飾られた門松では、五階松や七階松が用いられました。

③笹竹

松の上方には、上に伸びるように枝葉が付いた笹竹が取り付けられます。また、心柱を結ぶように竹が横に渡されることが多いようです。



④鬼打木(おにうちぎ)

心柱の根元には「鬼打木」と呼ばれる割り木や板がくくりつけられます。3枚あるいは12枚と数が決まっている場合もあれば、多くの割り木で心柱の根元をおおい隠すようにする場合もあります。おもに、檜(なら)や栗の木が使われます。

⑤ケンダイ

門松の中央に付けられるしめ飾りは「ケンダイ」と呼ばれます。地域により少しずつ形は違いますが、藁で作ったしめ飾りを交差させ、紙で作った梵天状の飾りを付け、炭や昆布、かんきつ類、干し柿などが添えられます。

図は、江戸時代に仙台北城下で版元を営んでいた山田屋が、版画の下絵として描いた仙台門松です。

仙台北城の門松

仙台北城で飾られた門松は、五階松や七階松を使い、約4mの高さになる豪壮なものでした。寛文10年(1670)の古文書によると、そのころ仙台北城と藩の施設で、42組の門松が設置されていました。城下にある藩の関連施設の分も相当あったようです。

こうした仙台北城で飾られる門松の材料は、宮城郡根白石村(仙台市泉区根白石)から献納されるのが恒例となっていました。門松の材料を納める家は「御門松上げ人(おんかどまつあげにん)」と呼ばれる8軒に限られていました。

仙台門松の復元

旧仙台藩領で飾られていたこのような門松は、近代以降、急速にその数を減らしました。しかし、仙台市博物館が調査を重ね、さらに仙台市泉区根白石で伝統的な門松を今も飾っている旧家の協力を得て復元することができ、仙台市内の歴史系ミュージアムで復元・展示活動が行われています。

このたび、一般社団法人心のふるさと創生会議では、仙台の歴史と文化を継承することを目的に、この仙台門松を多くの方に知っていただきたく、賛同いただいた下記の4ヶ所で展示を行うことになりました。伊達政宗以来の仙台藩内で飾られた仙台門松をご覧いただき、仙台の歴史と文化の一端に触れていただければ幸いです。

製作 一般社団法人 心のふるさと創生会議
協力 仙台市博物館 東北福祉大学

令和4年正月『仙台伝統門松』設置場所一覧

奉納・青葉神社 拝殿正面

12月27日 仙台伝統門松の奉納式後、下記の市内設置を開始する予定です

1. 株式会社 菓匠三全 仙台市青葉区大町2丁目14番18号
設置場所：菓匠三全 広瀬通り 大町本店前
2. ホテルメトロポリタン仙台 仙台市青葉区中央1-1-1
設置場所：ホテルメトロポリタン仙台二階 日本料理の店『はや瀬』
3. 志ら梅ビル株式会社 仙台市青葉区本町1丁目2-5
設置場所：第三志ら梅ビル入口
4. 学校法人梅檀学園 東北福祉大学 仙台市青葉区国見1丁目8番1号
設置場所：国見・本校正門内
5. 仙台うみの杜水族館 仙台市宮城野区中野4丁目6番地
設置場所：仙台うみの杜水族館内
6. 株式会社 鐘崎 仙台市若林区鶴代町6-65
設置場所：笹かま館入口
7. 八幡の杜館 仙台市青葉区八幡3丁目1番11号
設置場所：八幡の杜館前
8. 秋保・里センター 仙台市太白区秋保町湯元寺田原40-7
設置場所：秋保・里センター入口
9. 高惣合同会社（高惣木エビル） 仙台市宮城野区榴岡2丁目5番5号
設置場所：高惣木エビル入口
東北福祉大学仙台駅東口キャンパス西側 仙台駅東口に面した好位置
10. 株式会社西村呉服店 仙台市青葉区錦町1丁目7-23
設置場所：「きものゝ老舗にしむら」発祥の地
11. 三井不動産株式会社東北支店 仙台市青葉区本町2丁目4-6
設置場所：三井ガーデンホテルのビル入口

「仙台門松」は次のところでも見ることができます

仙台歴史ミュージアムネットワーク(歴ネット)の各施設

施設名	展示期間
○せんだいメディアテーク 問合せ先 022-225-3074	12月18日(土)～12月26日(日)
○瑞鳳殿 問合せ先 022-262-6250	12月18日(土)～1月14日(金)
○地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館) 問合せ先 022-246-9153	12月21日(火)～1月26日(水)
○史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設 問合せ先 022-214-8893(仙台市教育局文化財課)	12月23日(木)～1月14日(金)
○仙台文学館 問合せ先 022-271-3020	12月24日(金)～2月13日(日)
○仙台市縄文の森広場 問合せ先 022-307-5665	1月5日(水)～1月26日(水)
○仙台市歴史民俗資料館 問合せ先 022-295-3956	1月5日(水)～1月30日(日)

※瑞鳳殿・仙台市歴史民俗資料館の展示場所は有料ゾーンとなります。

見学には入館料が必要です。

※せんだいメディアテーク・仙台市歴史民俗資料館で展示されるのは、樹脂製のレプリカです。

※休館日、開館時間等は各館へお問い合わせ下さい。

※仙台市博物館は長期休館(令和3年10月1日～令和6年3月31日)のため、せんだいメディアテークで展示を行います。

その他の施設

○満興寺 仙台市泉区根白石字町西上27 お寺の行事等で、早めに取り外すことがあります	電話 022-379-2137	12月29日(水)～1月14日(金)
○仙台秋保温泉 佐勘 仙台市太白区秋保町湯元字薬師28	電話 022-398-2233	12月28日(火)～1月14日(金)
○いきいき交流センター 伊具郡丸森町大内字町西7	電話 20224-79-3151	12月28日(火)～1月14日(金)
○名取市那智が丘公民館 宮城県名取市那智が丘3丁目1-5	電話 022-386-6266	12月28日(火)～1月末日
○名取市相互台公民館 宮城県名取市相互台1丁目10-3	電話 022-386-2019	12月22日(水)～1月末日
○世嬉の一酒造株式会社 岩手県一関市田村町5-42	電話 0191-21-1144	12月15日(水)～1月15日